

令和3年度 学校評価シート

学校名： 県立新宮高等学校（全日制） 学校長名： 東 啓史

めざす学校像 育てたい生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体 バランスがとれた人間形成 ・地域社会に積極的に貢献する人材、次世代の日本社会・国際社会で活躍できるリーダーの育成 ・良き伝統の継承と新しい伝統の創造
本年度の重点目標	1 学びの場の充実による教育の質的向上
(学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	2 生徒の教育課題克服
	3 教職員の資質向上
	4 地域共育コミュニティの形成推進による規範意識の涵養と良き社会人の育成

中期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会委員と連携した中期的ビジョンの策定 ・ICT環境を含めた校内環境の整備 ・国際人育成のための積極的な国際交流 	達成度	A	十分に達成した。(80%以上)
学校評価の結果と改善方法の公表の方法	令和3年度の振学会総会や学校運営協議会等において、保護者や学校関係者に結果を知らせ公表していく。ホームページ上にも記載し、公表する。		B	概ね達成した。(60%以上)
			C	あまり十分でない。(40%以上)
			D	不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価	
重 点 目 標					年 度 評 価 (3 月 3 1 日 現 在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	多様な生徒に対応するため、類型別・文理別クラス編成とともに進路希望に対応した教育課程を編成している。また、学力向上はもとより、確かな学力の定着を重視した授業展開を行っている。ICT機器を活用した授業を行う教員も増えてきた。 課題は、生徒の学力・学習意欲の差が大きい中で、生徒自らが主体的に学習する課題探究能力の育成である。	①わかる授業、興味の湧く授業、力のつく授業が実践されているか。 ②学習の習慣化への取組がなされているか。 ③生徒の学ぶ意欲向上の観点に立って、学習指導が行われているか。 ④総合的な探究の時間、朝の読書が生徒の主体的な学習活動に結びついているか。	①授業時間の確保と授業規律の保持。 授業形態の工夫。 ②課題テストや小テストの実施などにより家庭学習の充実と確かな学力の定着を図る。 ③一人ひとりの能力や個性に応じた学習指導や進路指導の実践。 日常補習や長期休業中の補習の充実。 ④課題探究能力の養成と読書感想文の取組推進。	・年間授業計画の100%実施。 ・チャイム授業の実践。 ・個々の生徒の成績分析による成果と課題の確認。 ・小テストや課題テストの実施。 ・個々の進路希望に応じた指導の実施。 ・計画的な補習の実施。 ・体験的な学習や問題解決的な学習活動の実施。	①コロナ禍による休校もあったが、対面授業とオンライン授業を併用するハイブリッド方式の活用等により授業時間はほぼ確保できた。 ②授業態度は概ね良好であるが、家庭学習習慣の定着は十分ではない。 ③授業のICT化は進んでおり、各教科、授業改善の工夫がなされている。 ④総合的な探究の時間は生徒の自主的な活動の醸成に役立っている。今年度は、朝の読書の時間を十分確保できた。	B
2	生徒の多様な進路希望に対応した進路指導が行われている。課題は、一人ひとりの生徒の能力をまだ十分には引き出せているとはいえないことである。この課題を克服するために、進路検討会の更なる充実が必要であり、ガイダンス機能やキャリア教育の充実により、主体的に進路選択する力を育成する。	①個々の生徒への適切な進路指導がなされているか。 ②生徒・保護者へ進路情報の提供が適切に行われているか。 ③個々の生徒の成績等の情報が進路指導に生かされているか。 ④キャリア教育が計画的に実践されているか。	①進路検討会の実施により、生徒の状況を学年全体で把握し、適切な指導に反映させる。 ②継続的個別の進路相談及び三者面談の実施。 ③進路便りや学年便りの定期的発行。日常補習、長期休業中の補習や外部講師による進路講演の実施。 ④進路ガイダンス、進路講演会、キャリアセミナーの実施。	・進路指導年間計画の着実な実施と成果の確認。 ・進路検討会の定期的な実施。 ・個別面談及び三者面談を年間5回以上実施。 ・生徒及び保護者への情報提供。 ・保護者対象の進路講演会への参加者数の増加。 ・進路指導年間計画の完全実施と効果の検証。	①3学年を中心に進路分析会を適宜実施し、個に応じた適切な進路指導の取組がなされている。 ②年2回の三者面談、きめ細やかな個人面談が行われている。 ③進路指導部・学年から定期的に進路便りや学年便りを発行し情報提供に努めている。 ④コロナ禍においても各種アセンブリーや講演会をオンライン方式を活用するなど工夫して実施した。	B
3	若手教員の指導力の向上を課題ととらえ、若手教員を巻き込んだ学校全体の組織的実践力の強化に努めている。若手・中堅教員には学校運営に積極的にかかわらせるとともに、OJTを推進することで実践的指導力向上に努めている。 課題は、更なる教員定数減に備えて、より一層の校務分掌の整備を行うことである。	①45分授業に応じた指導方法と評価の工夫がなされているか。 ②若手教員の資質向上を中心とした業務の活性化ができてきているか。 ③思考力・判断力・表現力を育む活動ができてきているか。 ④研修は充実しているか。	①教科等教育法研究事業による授業充実と授業改善。 ②若手教員へのOJTの実施。 ③問題解決的な学習活動の実施。 ④現職教育の定期的な実施。積極的な研修への参加。	・各教科年3回の研究授業の実施と公開授業の実施。 ・現職教育を年間10回程度実施。 ・総合的な探究の時間・LHR・授業が融合した学習活動の実施。 ・いじめ防止、コミュニティスクール、特別支援教育、情報セキュリティ等の研修の実施。	①今年度はコロナ禍の影響もあり、研究授業の実施回数が年3回を下回った教科もあった。ICTを活用した授業を見学し合うことができた。 ②学年や分掌における職員年齢バランスを工夫し、若手が活躍できる場を多く設定した。 ③④不祥事防止、人権、いじめ防止等に関する現職教育を実施し若手、中堅教員の資質向上に努めた。	B
4	家庭・地域と連携することで、教育課題を共有し、その解決に取り組んでいる。規範意識を重んじる生活指導が定着している。 課題は、更に積極的に地域の教育力を生かし、グローバル人材の育成、ふるさと教育・人権教育・道徳教育・防災教育等の推進につなげていくことである。また学校運営協議会委員と連携し、地域との繋がりをより深めていきたい。	①保護者・地域との連携がとれているか。 ②全教員による共通理解と指導が徹底されているか。 ③コミュニケーション能力の育成、郷土の歴史・文化の理解、人権問題の理解、防災教育等が地域との連携で取り組まれているか。	①学校行事等を通して、保護者・地域との連携を深める。 ②校門・街頭指導、列車の乗車マナー指導、交通安全指導の徹底。服装・頭髪の個別指導の徹底。薬物乱用防止指導の実施。校内美化の徹底。 ③熊野古道ロングハイキングの実施。姉妹校との交流、及び地元自治体の姉妹都市などとの国際交流への協力。	・公開授業の実施。 ・学校行事の広報活動の実施。 ・長期休暇中の諸注意の配布。 ・関係諸機関との連携。 ・清掃の徹底。 ・体験型学習の実施。 ・国際交流事業に参加する生徒数の増加。	①②③今年度も新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、各学校行事については地域住民の参加を見合わせた。熊野古道ロングハイキングは、コロナ禍で実施できなかった。国際交流についても厳しい状況の中、オンラインでの交流を数回実施するなど工夫して取り組んだ。	B

学 校 関 係 者 評 価	
令和3年12月 実施	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>学校運営協議会において以下の意見が出された</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で大学のオープンキャンパス等へ行く機会が少なくなっている。リモートでの大学見学など、生徒が疑似体験できる機会を増やしてほしい。 ・学校の再編整備について <p>立派なモデル校となるよう、人員や設備の充実を図ってほしい。</p> <p>多くの人数で切磋できる環境を、という観点からどのような校舎制がよいか考えたい。</p> <p>他校や他校舎の授業をリモートで受講できる環境が整えられると良い。</p> <p>全国募集ができるように考えてほしい。</p> <p>全国に不登校生徒のための学校が設立されてきているが、この地域にも必要ではないか。</p> <p>再編整備について、地域にも迅速かつ丁寧な説明がほしい。</p>	